

ままのしおおにぎり

古町小学校

一年 黒坊 りくと

あつあつのごはんを

ぽんっとおちゃわんにいれる

おちゃわんを

ぽんぽんぽんって

うごかしてまるくする

てにしおをつけて

ごはんをぽん

ぎゅっぎゅって

さんかくににぎってくれる

らっぷにつつんでくれる

さめてもすっごくおいしい

おにぎりだよ

(第三十五回入賞作品)

ちようちよ

平井小学校

一年 伊藤 暖真

パパとおさんぽ

たのしいな

しぜんがいつぱい

はっぱもきれいだね

パパも

ほんとうだね

っていつて

ちようちよが

ひらり

ぼくは

ちようちよがすきになったよ

(第三十三回入賞作品)

いいかお

隈府小学校

一年 荒木 桃李

ぱ[。]ぱとおふろにはいった

「きょうがっこうはどうだった。」

って ぱ[。]ぱがきく

「たのしかった。」

って ぼくはこたえる

ぱ[。]ぱとぼくは

いいかおになる

おふろからあがつて

ぼくはつめたいみずをのむ

ぱ[。]ぱはつめたいびいるをのむ

ぱ[。]ぱとぼくは

またいいかおになる

(第三十二回入賞作品)

ままのハグ

隈府小学校

一年 森川 麗桜

りいちゃんのこと

ハグしてくれる

ママが

「だいじょうぶ。」

っていつてくれる

わたしはだまって

じっとしている

わたしもママも

げんきになる

(第三十回入賞作品)

きくだけでわかるよ

宇土小学校

一年 濱本 梨朱

りあ

りいちゃん

りい

やさしいときは りいちゃん

おこっているときは りい

ふつうは りあ

なまえをきくだけで

きもちがわかるよ

おかあさん

(第二十九回入賞作品)

お父さんの手

菊水小学校

二年 田中 あかり

ふゆのあさ

おとうさんとさんぽに行ったよ

「さむいなあ。」

って言っ

て

「はあはあ。」

ってあたためたら

おとうさんが

手をつないでくれた

おとうさんの手はなんで

こんなにあったかいのかな

（第三十五回入賞作品）

お父さんのおなか

励徳小学校

二年 田村 ゆず

お父さんのおなか
ぼよんぼよん
気持ちいい

お父さんのおなかは
大きい
赤ちゃんがいるのかな

お父さんのおなかは
つくえみたい
ポップコーンをのせてみたい

お父さんのおなかは
わたしのあそびば
トランポリンみたい

お父さんのおなかは
わたしのまくら
ぐっすりねむれる

お父さんのおなかは
わたしのとくとうせき
大すきなおなか
これからもずっといっしょだよ

(第三十四回入賞作品)

ふんわりおかあさん

宇土小学校

二年 上谷 啓人

「けいと おきて。」

いつもおかあさんのこえで

目がさめる

ぼくがおきないと

おかあさんもねころがって

ぎゅうとしてくれる

「あと十びよう。」

十びようたつても

ぼくはねたふりをする

おかあさんはふわふわ

この十びようが

ずっとつづけばいいのにな

(第三十三回入賞作品)

お母さんのごはん

芳野小学校

二年 福田 琉人

いえにちかづくとも何か

おいしいにおいがした

「あつ。お母さんがいるんだ。」

ぼくは 早あるきになった

「このにおいは・・・おむらいすだ！」

ぼくは ドアをガチャツ

お母さんがモクモクゆげの中

わらってる

ぼくもうれしくなつて

わらったよ

ぼくをえがおにする

まほうのおむらいす

(第三十回入賞作品)